

鳥栖市公立保育所のあり方検討委員会 資料（第1回）

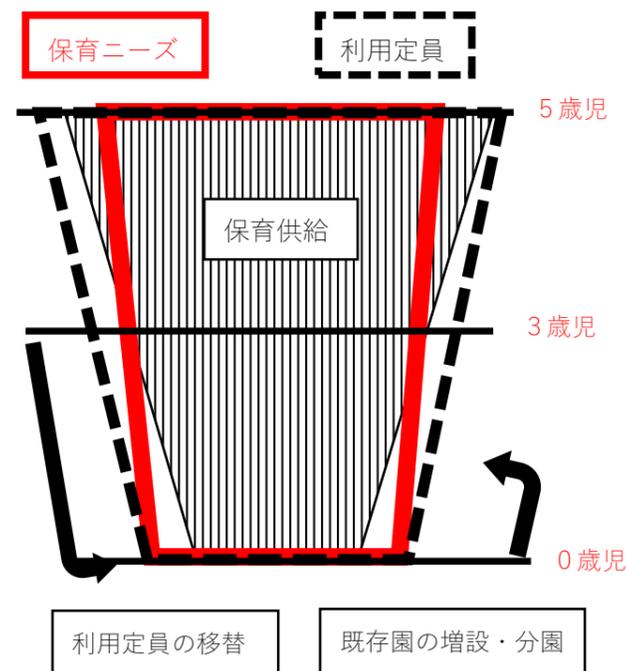
1. 鳥栖市子ども・子育て支援事業計画（教育・保育施設の事業計画）について

- ・子ども・子育て支援事業計画では、人口推計、ニーズ調査から、今後の保育施設整備等の方針を立てている。
- ・現行の第2期計画（R2～R6の5年間）は保育園、幼稚園（預かり保育）、企業主導型保育所を含めた市内施設全体で保育供給量を確保することとしている。
- ・R6年度にR7～R11の第3期計画を策定する必要がある。
- ・次期計画策定に際し、児童人口の減を踏まえた公立保育所のあり方を計画に取り入れる必要がある。

2. 市内の保育施設の状況

※R5のみ4月時点

		平成 27 (2015)	令和 2 (2020)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024) 計画
人口 (R6は計画)	3～5歳児	2,392	2,108	2,017	2,075
	1～2歳児	1,512	1,345	1,196	1,368
	0歳児	727	640	540	662
	計	4,631	4,093	3,753	4,105
入所者数(3月)	3～5歳児	入所 1,046	1,118	1,146	
	保育園	申請 1,081	1,137	1,157	1,101
		定員 1,058	1,217	1,204	1,204
申請者数(3月)	1～2歳児	入所 445	690	646	
	保育園	申請 514	751	707	833
利用定員 (企業枠含む 利用定員)	0歳児	入所 207	221	228	
	保育園	申請 305	351	285	293
	定員	262	264	292	301



- 現時点で利用定員では保育需要と保育供給が均衡している。
- 施設は充足しているが、保育士不足のため実際の入所可能者数が伴っていない状況。特に公立保育所では利用定員と入所可能者数の差が大きい。
- 計画より速いペースで少子化が進行。将来的に市全体で保育所の定員割れが想定されるが、ニーズの偏在により、供給過剰の地区・供給不足の地区が出ると想定。

➡ 施設定員数は充足しているが、今後も保育所の受け入れ数確保のため、保育士確保の支援継続が必要。

今後については、公立と私立の方向性を分けて考える必要がある。

3. 公立保育所の状況

園名		小鳩園	白鳩園	下野園	鳥栖いづみ園	公立計
全体	R5.3入所者	111	80	33	170	394
	利用定員	130	110	50	225	515
3～5歳児	R5.3入所者	66	45	18	114	243
	利用定員	80	60	30	135	305
1～2歳児	R5.3入所者	36	25	11	43	115
	利用定員	40	35	15	65	155
0歳児	R5.3入所者	9	10	4	13	36
	利用定員	10	15	5	25	55
R5.3加配対象園児数		3	5	1	7	16
R5.3の正職配置		長1主1保9栄1	長1主1保5栄1	長1主1保3栄1	長1主2保13欠2栄2	46うち欠員2産育休8
R5.3の会計年度任用職員(常勤)配置		保10調4支1看1	保8調2支1	保3調1支1	保12看1調5支1	51うち産育休1
建築		H8 RC造	S59 RC造 H11 R造(増築)	S36 木造	H4 RC造 H11.H17 R造(増築)	
次回の改修工事の目安時期		R8	R6	要検討	R7	

- 公立保育所は下野園以外の3園も、老朽化対応のための大規模改修工事が必要な時期を迎えている。
- 配慮の必要な園児が増加した結果、保育士不足により入所可能者数が減少し、利用定員を満たせていない。
- 新たなニーズ（インクルーシブ教育、障害児や乳児関連部署との連携強化、家庭保育支援等）に対応するため、職員の専門性を高めたいが、余力がない。

➡ 公立保育所の役割と規模を明確化し、新たな取り組みを実施できる体制を構築していきたい。